

経営比較分析表（令和2年度決算）

長野県地方独立行政法人長野県立病院機構 阿南病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド透	救へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	10,994	第1種該当	-	10:1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
85	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	85
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
70	-	70

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

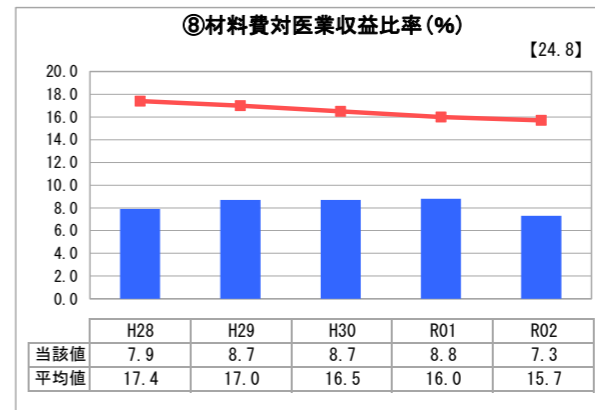
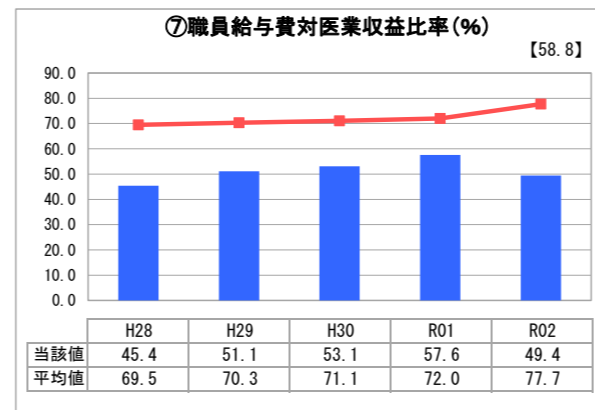
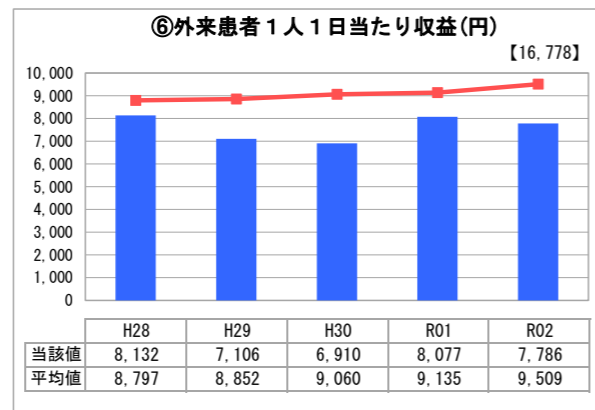
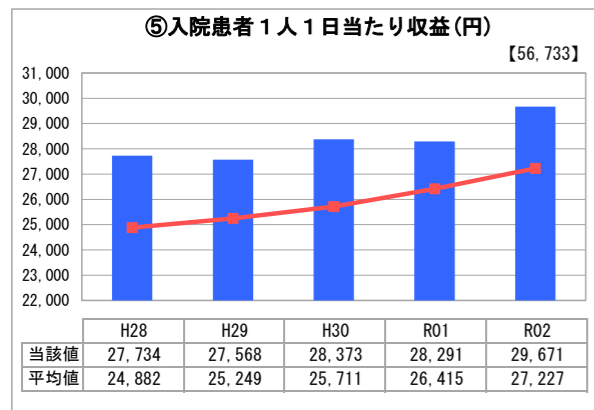
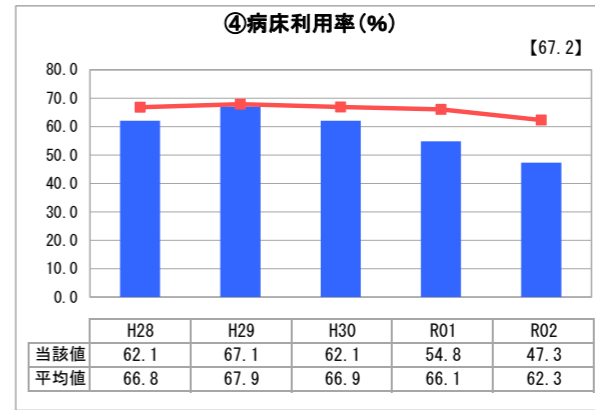
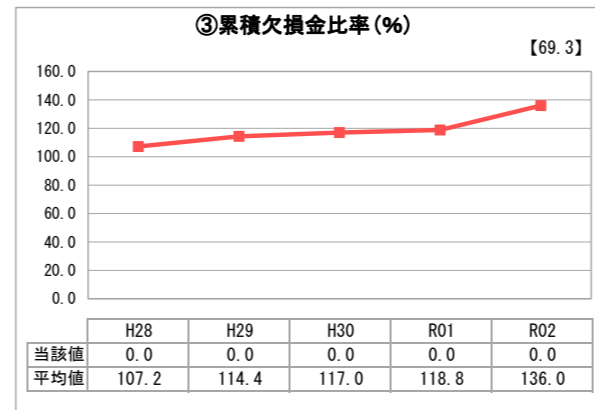
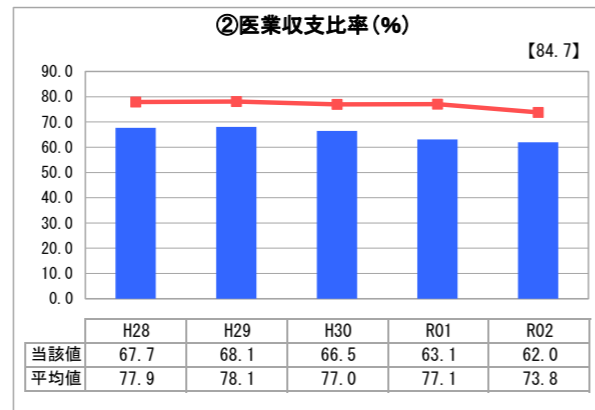
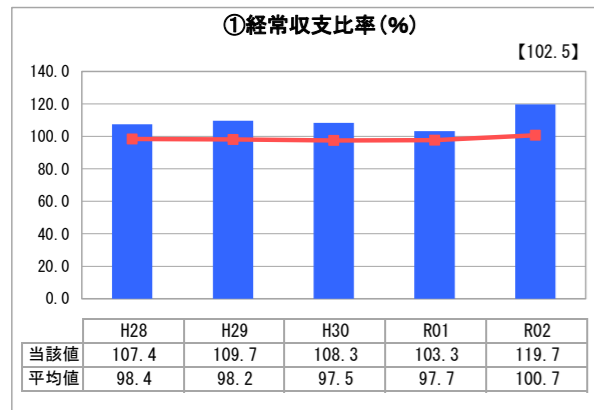
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

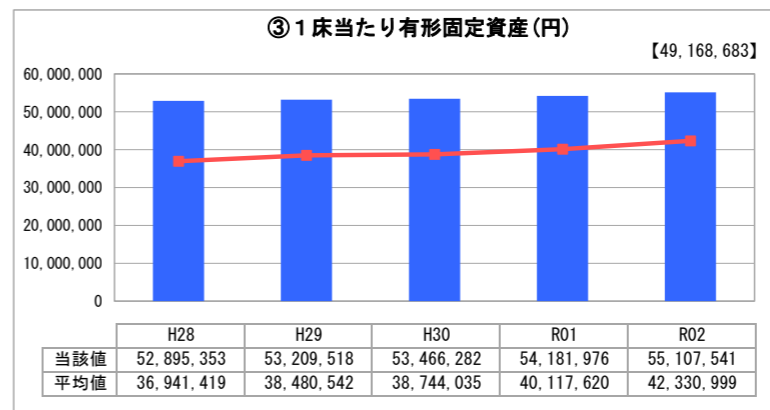
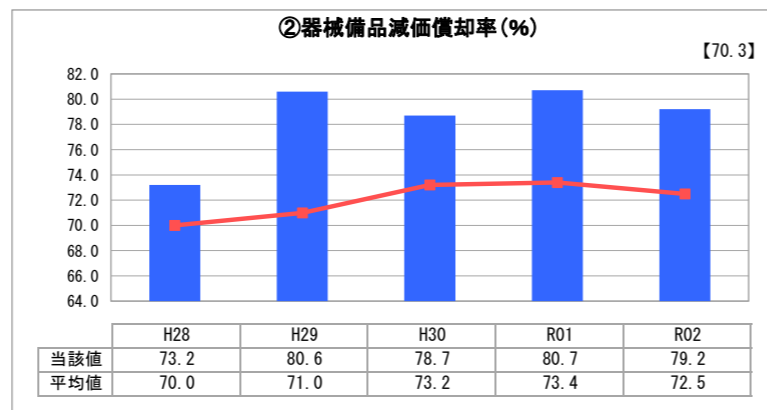
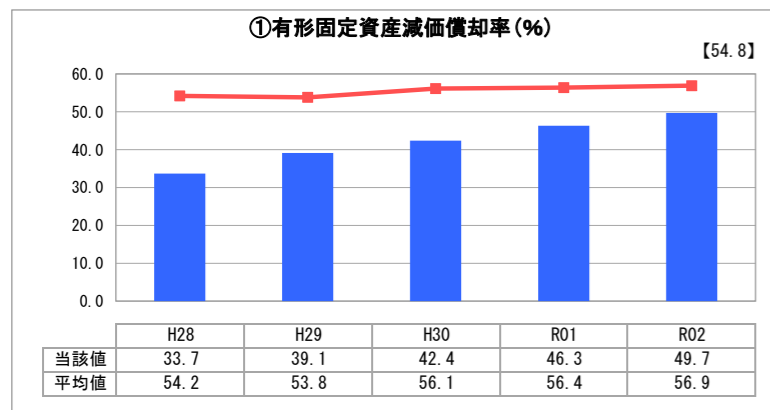
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	年度	-
-	年度	-

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

長野県下伊那南部地域の中核病院として二次医療を担っており、へき地医療拠点病院、救急告示病院として、地域住民の疾病予防、早期発見、治療及び救急患者の対応に寄与している。

また、交通事情や地域ニーズに合ったへき地巡回診療や、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリなどの在宅医療にも力を入れた地域医療を提供している。

さらに、併設の阿南介護老人保健施設と連携し、医療と福祉の切れ目のないサービスを提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・令和2年度は、①経常収支比率は、新型コロナウイルス緊急包括支援事業補助金により前年度を上回る比率となり、また、類似病院平均値より上回った。②医業収支比率では、常勤整形外科医の退職及び新型コロナウイルス感染症の影響により前年度を下回り、類似病院平均値より下回っている。

・④病床利用率は、常勤整形外科医の不在、新型コロナウイルス感染症の影響により入院患者数の落ち込みが激しく前年度と比較して減少した。また、類似病院平均値よりも下回っている。⑦職員給与費対医業収益比率は、補助金収益増加により前年度より比率が下がっているが、補助金を除いた場合は前年度より増加している。

2. 老朽化の状況について

本館棟は耐震化改築工事により2013年に新館となったが、1985年に建築された東館、西館についてはともに不具合箇所が散見される。今後は、計画的に修繕を実施するとともに、建て替えを視野に入れた経営計画を検討していく必要がある。

また、器械備品減価償却率が高く、器械の老朽化が進んでいるため、収支のバランスを踏まえた上で、計画的に器械を更新する必要がある。

全体総括

経常収支比率は5年連続で100%を達成しているが、医業収支比率が60%台で推移しており、本来の医業活動から生じる医業収益だけで賄われている状況ではない。

地域唯一の中核病院として、高齢化と人口減少が進む地域における地域包括ケア病床の開設などの地域のニーズに沿った病院運営を進めるとともに、患者本位の優しさと思いやりのある地域医療の推進に努めている。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。